

第48回

全国精神保健福祉業務研修会 in さいたま

令和7年

2/1 | 土 | 2 | 日 |

精神保健福祉 × 地域共創

Co-Creation

— 保健所発祥之地って、埼玉らしい —



流沢って、埼玉らしい

会場 浦和コミュニティ
センター

〒330-0055 埼玉県さいたま市
浦和区東高砂町11-1
浦和PARCO 10F
公共施設コムナーレ

【定員】各プログラムごとに設定 (先着順)

【対象】精神保健福祉業務に従事する自治体職員

【参加方法】各プログラムごとに設定 (ハイフレックス型の場合リモート参加可能)

【参加費】会員 4,000円 / 非会員 10,000円 (会場で抄録集を配布します)
※リモート参加の方は抄録集を後日郵送しますので、当日はホームページ上の資料をご確認ください。

【懇親会】2月1日(土) 17:45~(8,000円)
浦和ワシントンホテル

【申込期間】令和6年11月25日(月) ~ 令和6年12月27日(金) 必着

※各プログラムは定員に達し次第、締め切ります(随時ホームページを更新予定)。

申し込み方法

「全国精神保健福祉相談員会」で検索いただくか
下記URLにアクセスまたは右記二次元コードを読み取りお申し込みください。
<https://www.zenseisou.com>



全国精神保健福祉相談員会
Japan Association of Public Mental Health & Welfare Workers

主催 | 全国精神保健福祉相談員会 | 協賛 | 大塚製薬株式会社

後援 | 厚生労働省、埼玉県、さいたま市、
全国精神保健福祉センター長会、全国保健師長会

研修会事務局 | 〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室818-2
埼玉県立精神保健福祉センター 救急情報担当 河本
E-mail : kensyu@zenseisou.ciao.jp

●13:00～13:20／開会・活動報告 全国精神保健福祉相談委員会における近年の活動について報告させていただきます。

行政説明

●13:20～14:20…多目的ホール／会場定員250人 **HF可**

「精神保健・福祉・医療施策の動向と行政の役割(仮)」

【講師】厚生労働省 社会援護局 精神・障害保健課
最近の精神保健福祉施策の動向や今後の方向性について講演いただきます。

基調講演

●14:30～17:00…多目的ホール／会場定員250人 **HF可**

シンポジウム

基調講演: ●14:30～15:30

「支援しづらい人(支援を拒否する人)を支援するポイント」

【講師】成瀬 暢也(埼玉県立精神医療センター)
「支援しづらい人(支援を拒否する人)」をどのように理解し、どのように支援したらよいのだろうか、悩まれた方は少なくないでしょう。基調講演では、長年依存症患者を中心に診療されてきた講師に、「支援しづらい人(支援を拒否する人)」を支援するポイントについてお話いただきます。

シンポジウム: ●15:40～17:00

「支援しづらい人(支援を拒否する人)を支援する」

【座長】広沢 昇(埼玉県立精神保健福祉センター)
【シンポジスト】鈴木 信人(東京都立精神保健福祉センター)「東京都アウトリーチ支援事業の支援(仮)」
小川 嘉恵(埼玉県立精神医療センター)「女性依存症者への支援」
加藤木 啓充(前橋市保健所)「ひきこもる人への支援～前橋市保健所の取り組み～」
シンポジウムでは、「ゴミ屋敷事例」「女性依存症者」「ひきこもる人」への支援について、実践報告していただきます。

基礎講座

●14:30～17:00…第15集会室／会場定員100人 **会場のみ**

テーマ:「基礎から学ぶ精神保健福祉相談 ～「みる」「つなぐ」「動かす」地域で活動する行政保健師の役割～」

今年もやります!!恒例の「基礎講座」です。精神保健福祉業務若葉マークの保健師等を対象に、相談支援の技術や地域連携のための基礎的な方法などについて学んでいただきます。ミニ講話と事例検討を通じて、日々の悩ましいあれやこれや、語り合いながら、悶々とした気持ちを少しでも払拭できたらと思います。仲間の「誰一人取り残さない」を願い、**保健師と協働する多職種の皆様参加も大歓迎**です!!

※午前と午後のプログラムを組み合わせ参加してもらいます。

分科会1

●【午前】9:30～12:00…多目的ホール／会場定員250人 **HF可** 【午後】13:15～15:15…第15集会室／会場定員60人 **会場のみ**

テーマ:「市区町村の保健・福祉・生活困窮・思春期等の部署で取り組むメンタルヘルス支援」

【報告自治体】名古屋市中村区、京都府綾部市、埼玉県所沢市、神奈川県座間市
市町村職員、都道府県職員の皆様は、どの部署にいてもメンタルヘルス支援を行っていると思います。午前中は、保健・福祉・生活困窮・子ども等(思春期・若者等)の部署での業務の中でメンタルヘルス課題に対してどのような取り組みを行っているのか、各地域の課題抽出をしながらか課題解決に向けた実践報告を4つの自治体職員の方にさせていただきます。午後は参加される皆さんが抱えている課題等をとことん語り合い、自治体職員のネットワークを広げる機会にしたいと考えています。

分科会2

●9:30～12:00…第15集会室／会場定員100人 **会場のみ**

テーマ:「児童思春期のネット依存への対応について ～ゲーム依存問題を中心とした保護者へのアプローチ～」

【講師】金田一 賢頭(白峰クリニック) 【司会】井元 玲子(東京都立学校スクールカウンセラー) 【ファンリターナー】上田 勲(豊中市役所) 木本 達男(岡山市保健所)
不登校の子どもの保護者が抱える悩みの一つにゲーム依存があります。ゲームに熱中し、時間のコントロールができなくなったり、部屋に閉じこもりたりしている一方で、ゲームは子どもたちの大切な居場所にもなっています。保護者や周囲はどう向き合ったらいいのでしょうか。思春期の課題も含めてご講演いただきます。

分科会3

●9:30～12:00…第13集会室／会場定員50人 **会場のみ**

テーマ:「自治体人材育成分科会 ～住民に役立つ職員を体系的に育てるために～」

【報告自治体(予定)】滋賀県、埼玉県さいたま市、青森県(三戸地方保健所)
本分科会では過去2年間「地域精神保健福祉活動を充実させていくためには、自治体にどのような人材が必要で、その育成をどうするか」をテーマにしてきました。3年目となる今回は、これまでの知見と国の政策動向を確認したうえで、実際に現場における人材育成の実践報告をもとに、組織や地域で取り組む体系的な人材育成の方法を具体的に考えていきます。

ランチタイムセミナー

●12:10～13:00…第15・13集会室／会場定員150名 **会場・HF可** ※お弁当をご持参ください。

テーマ:「能登半島地震・豪雨被災地の今」

【座長】塚本 哲司(埼玉県立精神医療センター) 【講師】吉岡 智子(石川県能登北部保健福祉センター) 荒田 稔(社会福祉法人なごみ/全国精神保健福祉相談委員会相談役)
地震による被災、その後の豪雨による被災という複合災害に見舞われた能登半島の現在まで、この地に暮らす住民の声を届けていただきます。また保健所のこれまでの活動、地域の支援体制、そして求められている支援とは何か、お話していただきます。

分科会4

●13:15～15:15…多目的ホール／会場定員250人 **HF可**

テーマ:「警察官通報への対応を考える」

【座長】塚本 哲司(埼玉県立精神医療センター)
【講師】藤井 千代(国立精神・神経医療研究センター)「警察官通報の現状と課題」
濱谷 翼(埼玉県保健医療部疾病対策課)「本課の立場から警察官通報を考える」
前林 勝弥(静岡市保健所)「保健所の立場から警察官通報を考える」
【指定発言】金田一 正史(社会福祉法人ワーナーホーム/全国精神保健福祉相談委員会相談役)

全国の自治体で、措置入院の運用が適切に行われるよう、警察官通報を契機とした、措置入院に関する標準的な手続きが、「措置入院の運用に関するガイドライン」として示されました。しかし、警察官通報に係る事前調査の在り方等について大きく報道されるなど、措置入院制度の運用について問われ続けています。このような状況を打開する術はあるのか、一緒に考えてみませんか。

分科会5

●13:15～15:15…第13集会室／会場定員60人 **会場のみ**

テーマ:「ピアとの協働」

【講師】中川 浩二(和歌山県精神保健福祉センター) 中島 碧(埼玉県上尾市障害福祉課) 吉松 正人(京都府綾部市障害者支援課)
【司会】門田 雅宏(滋賀県立精神保健福祉センター) 山田 敦(川崎市高津区役所地域まもり支援センター)
各地で実践されているピアサポート活動にどのように行政が関わって、現在の事業を作ったのでしょうか。行政の関与の部分を中心に実践報告していただきます。